

# SHOW HEY シネマルーム

★★★★

## 外事警察 その男に騙されるな

2012年・日本映画

配給/東映、S・D・P・128分

2012(平成24)年6月17日鑑賞

梅田ブルク7

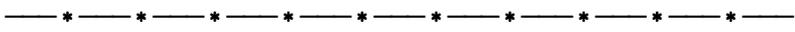
### Data

監督：堀切園健太郎  
脚本：古沢良太  
原案：麻生幾『外事警察 COD E：ジャスミン』  
出演：渡部篤郎/キム・ガンウ/真木よう子/尾野真千子/田中泯/北見敏之/遠藤憲一/余貴美子/石橋凌/イム・ヒョンジュン

## 👁️👁️ みどころ

「外事警察」ってナニ？それは対国際テロ捜査を専門とする「日本版CIA」だが、平和ボケした日本の外事警察は朝鮮半島や中国の諜報員たちと対等に渡り合えるの？2011年の3・11東日本大震災による混乱の中、原子力関連部品のデータが盗難！それってどういうこと？

冒頭から中盤にかけてはスリリング。また登場人物も魅力的だが、後半からクライマックスにかけては、やけに説明調に……。そんな不満も多いが、今の時期にこんな映画をつくってくれたことを評価して、星4つに！



## ■□ 『ハゲタカ』に続くNHKドラマの映画化は？■□

通常の刑事警察とは異なり対国際テロ捜査を専門とした組織で、「日本のCIA」とも呼ばれるのが警視庁公安部外事課。そんな設定で、ジャーナリストとしても活躍する麻生幾が書いた同名小説を基にしたドラマが、2009年11月14日から12月19日までNHK土曜ドラマ枠として全6話で放送され人気を呼んだらしい。その結果、全般的な映画のネタ不足の今、『ハゲタカ』(09年)と同じようにそれが映画化されることに。

主演の渡部篤郎をはじめ主なキャストはテレビドラマと同じだが、オリジナル脚本となった本作の目玉キャストは韓国の工作員・安民鉄を演ずるキム・ガンウと奥田交易の社長夫人・奥田果織を演じる真木よう子の2人。そして、ウラニウムとその起爆スイッチという物騒な小道具をめぐって、日韓両国を股にかけて撮影された本作の鍵を握る人物は、余命幾ばくもない原子力研究の権威である、在日2世の老人・徐昌義(田中泯)。

テレビドラマの安易な映画化に批判的な私だが、『ハゲタカ』だけは例外で、星4つだった(『シネマルーム23』156頁参照)。さて本作は？

## ■冒頭は緊張感の中で！特徴的な人物は？■

本作は最近の邦画では珍しく冒頭から「説明調」を排し、かなりの緊張感を持って進んでいく。2011年の3・11東日本大震災直後の混乱の中、何者かの手で被災地にある大学の施設から原子力関係の部品データが盗まれた。内閣情報調査室情報官の有賀正太郎（石橋凌）と警察庁警備局長の倉田俊貴（遠藤憲一）の元に今、そんな報告が入ったが、その犯人は一体ダレ？

北朝鮮や韓国の諜報員が暗躍しているらしいから、この件はひとまず村松久美内閣官房長官（余貴美子）に報告しなくちゃ。しかして、いよいよ松沢陽菜（尾野真千子）と金沢涼雅（北見敏之）を部下とする公安部外事第4課作業班長・住本健司（渡部篤郎）の登場だ。住本が目をつけたのは、一人娘を連れだ美しい日本人妻・果織と結婚して日本国籍を取得し、幸せそうに暮らしている奥田交易の社長・奥田正秀、本名金正秀（イム・ヒョンジュン）だが、この会社の内幕は？そして奥田の正体は？また、ここで安民鉄は一体どんな仕事を？

## ■サブタイトルの意味は？なるほど、なるほど・・・■

最初に緊張が走るのは、韓国に潜入した住本がキーマンの徐昌義と接触し、「日本に帰りましょう。娘さんに会いたいですよ」と勧誘するシーン。本作では二十数年前に妻子を日本に置いたまま姿を消した原子力の権威・徐昌義が美しい妻と幼い娘と一緒に桜の木の下で写している1枚の写真がポイントになるが、ホントに徐昌義の娘は生きているの？そして徐昌義は住本の勧誘に応じて日本に戻るの？

また本作の「その男に騙されるな」というサブタイトルがなるほどと思えるのは、果織の過去を洗うことによって果織の幼い娘が今なお口を利けない理由や、多額の借金を背負っていた果織と奥田がなぜ結婚したのか？それは偽装結婚なんだ、ということを利用して、住本が果織にスパイになれと迫るシーンが続くこと。2010年のNHK大河ドラマ『龍馬伝』で気の強いお龍さん役を好演した真木よう子が、本作ではあっちに揺れこっちに揺れる女心をいかに表現？住本の部下の松沢陽菜を演ずる尾野真千子が、2011年のNHKの朝ドラ『カーネーション』の熱



『外事警察 その男に騙されるな』  
2012年11月21日(水) Blu-ray 発売中 12,600円(税込)  
© 2012「外事警察」製作委員会

演とはほど遠い平凡な演技に終わっていることと対比すれば、本作では真木よう子の熱演が光っている。

## ■□■本作の不満その1ー肝心の部分がやけに甘い?■□■

本作前半では、住本がすれ違いザマに奥田に刺されて倒れるシーンや、徐昌義を口説くのが命がけだということを示すため徐昌義と同じように住本もガソリンを浴びるシーンが登場し、それなりに緊張感が走る。ところが、なぜ果織が住本の勧誘に応じるようになったのか?という難しい心理描写の描き方は甘い。また、奥田が隠し持つ核爆弾の点火装置をド素人の果織がいかにかして発見し、写真撮影までするののか?については、奥田はそれでも某国のプロのスパイかと思わざるをえないから、そんな肝心の部分の描き方が甘い。

ロクでもないテレビドラマが氾濫している昨今、NHKのテレビドラマはそれなりに面白いはずだが、それを映画化した本作でも、私にはまず第1にそんな不満が。住本は韓国のNIS(国家情報院)の諜報員であることが明らかになった安民鉄から何度も「だから日本の外事課は甘いんだ!」とバカにされていたが、映画づくりにおいても邦画は韓国映画に比べると、かなり甘い・・・?

## ■□■本作の不満その2ークライマックスはやけに説明調に?■□■

本作のクライマックスは、入手した部品をもとに某国に入った徐昌義が核爆弾を完成させたにもかかわらず、その起爆スイッチがニセモノだったことが判明したところで訪れる。それを隠し持つのは、果織への愛のため某国への忠誠心を捨てた奥田だが、奥田が死んだ今ホンモノの起爆スイッチは一体どこに?そんなスリリングな展開の中で、徐昌義と果織そして住本ご対面のクライマックスが訪れるが、私の不満その2は、ここに至って急に果織のセリフが長くなり、最近の邦画の悪しき特徴である「説明調」になってしまうこと。

二十数年前(正確には1985.04.04。この日付=数字はクライマックスに向けて大きな意味を持ってくるので要注目!)の写真に写っている小さな女の子は、ひょっとして果織ではないの?それは映画中盤から多くの観客が考えていることだが、さてその真偽は?戸籍の調査、裁判所による失踪宣告、そして最近はやりの(?)DNA鑑定等々、面白いネタはいろいろ盛り込まれているのだから、クライマックスでここまで説明調にしないでいいのでは?

## ■□■なぜこれが「世界を変えること」に・・・?■□■

徐昌義を演ずる田中泯は『たそがれ清兵衛』(02年)、『シネマルーム2』68頁参照)や『隠し剣 鬼の爪』(04年)、『シネマルーム6』188頁参照)での凛とした演技が光っていたベテランの舞踊家兼俳優。そんな彼が、中盤からクライマックスにかけて、謎多き徐昌義という人物を重量感タップリに演じている。しかして徐昌義が今、果織と住本そして安民鉄を前にして取った「あつと驚く行動」とは?

それは核爆弾を起動させたことだが、本人の「説明」によれば、これは「世界を変える

ため」らしい。しかし、ストーリー展開の中で見えてくる徐昌義の人物像からは、なぜ核爆弾を爆発させることが「世界を変えること」になるの？それがよくわからないところが私の不満。さらに、それに関連する大きな不満もある。さて、それは・・・？



『外事警察 その男に騙されるな』

2012年11月21日(水) Blu-ray 発売中 12,600円(税込) (C) 2012「外事警察」製作委員会

## ■□■本作の不満その3ーセットされた核爆弾の解除は？■□■

徐昌義が自信たっぷりに言うように、いったん起動を始めた核爆発装置を解除することなど絶対に不可能なはず。ましてや、徐昌義は珍しく冗長にしゃべった挙げ句、ピストル自殺を遂げたから、ド素人の住本がいくら機械をいじくっても核爆発の起動を解除することなど不可能なはずだ。すると、これにて朝鮮半島は吹っ飛び、日本にも福島第一原発の事故に数百倍する放射能が……。安民鉄を含め誰もがそう考える中、住本は必死で起爆装置解除のパスワードを捜したが、そりゃ所詮ムダ……。ところが、刻一刻と時間が切迫する中でふと彼が思いついたあるパスワードとは……。それはあなた自身の目でしっかりと！

映画をハッピーエンドで終わらせるためにはそれなりの工夫が必要。しかし、私が持っているパソコンのパスワード捜しなら、誕生日等々から推測できるかもしれないが、住本のちょっとした思いつきで、起爆装置解除のパスワードが発見できるというのは、いくら何でも安易すぎるのでは。それが本作の不満その3だ。そんなこんなの不満を考えると本作は本来星3つだが、今のこの時代にこういう映画をつくってくれた心意気を評価して、あえて星4つに。

2012 (平成24) 年6月19日記